

髪の毛の分け目が顔印象と美容師の視線パターンに及ぼす影響 ：評価用紙法と視線解析法の比較

Effects of hair parting on facial impressions and hairdresser's gaze patterns
Comparison of the questionnaire method and the gaze analyzing system

武藤祐子¹⁾、富田知子²⁾、鎌田正純³⁾

Yuko MUTOH¹⁾, Tomoko TOMITA²⁾, Masazumi KAMATA³⁾

E-mail : muto.yuko@osaka-shoin.ac.jp

和文要旨

ヘアスタイルは顔の印象に影響すると言われている。人の容姿を美しくする役割を担う美容師の多くは、その影響を感性的・経験的に把握してはいるが、ヘアスタイルによる顔の印象変化について科学的な研究は殆どない。また、髪型作りの第一段階である「分け目」が顔の印象にどのように影響するのかという定量的な研究はこれまでにこなわれてこなかった。

よって本研究は、顔サンプル画像に対する質問紙による印象評価と視線解析システムを用いた実験を行なうことで、分け目が顔印象に及ぼす影響と美容師と美容学生の視線パターンの差異の検証を目的とした。また、評価用紙を用いた実験結果と視線解析装置による実験結果の相関性を明らかにすることにより、評価用紙法の妥当性を確認した。

その結果、本研究では髪の毛の分け目は顔を縦長・横長に感じさせるなどの印象の変化を起こすこと、美容師特有の髪型と顔の見方というものが存在すること、などが明らかになった。

キーワード：分け目，顔印象，美容師，視線パターン

Keywords : hair parting, facial impressions, hairdresser, gaze patterns

1. はじめに

美容師は、厚生労働大臣指定の養成施設を修了後に国家資格を所得した者のみが行える「業務独占資格」の一つであり、髪の毛や顔面など頭部に關する施術を行なうことを業としている。近年、顔の印象は髪型に影響されることが報告[1]されているが、美容技術によって人の容姿を美しくする役割を担う美容師にとっても、顔の印象を客観的に捉えることは重要といえる。

しかしながら美容師の多くは、その影響を感性的・経験的に把握しており、ヘアスタイルによる顔の印象変化について客観的な研究は殆どない。また、これまでに髪型作りの第一段階である「髪

の毛の分け目」が顔の印象にどのように影響するのかという定量的な研究はこなわれてこなかった。

本研究は、顔サンプルの刺激画像を作成し、その刺激画像に対する評価用紙を使用した印象評価と視線解析システムを用いた実験を行なうことで、髪の毛の分け目が顔印象に及ぼす影響を検証した。なお、本研究では美容経験者と美容学生の差異についての検証を行なうこととした。その理由としては、学生教育への視点形成の必要性の有無を明らかにし、更には、その要素を検証することにより、美容教育に必要となる美容師特有の視点パターンを明らかにしていくことを目的とした

1) 大阪樟蔭女子大学、Osaka Shoin Woman's University

2) 山野美容芸術短期大学、Yamano College of Aesthetics

3) 株式会社大島椿本舗、Oshimatsubaki Co., Ltd.